

H23 年度科学・技術関係予算概算要求 個別施策ヒアリング  
【施策番号 27147：基礎研究から臨床研究への橋渡し促進技術開発  
(経済産業省)】

- 1 日時：平成 22 年 9 月 9 日(木) 16:00~16:25
- 2 場所：中央合同庁舎 4 号館 2 階 共用第 3 特別会議室
- 3 聴取者：相澤議員、本庶議員、奥村議員、白石議員  
外部専門家 9 名(うち若手 3 名)
- 4 説明者：経済産業省 荒木 由季子 生物化学産業課長  
船橋 憲生物 化学産業課長補佐  
NEDO 古川 義規 主任研究員

5 施策概要

新しい医薬品、医療機器、診断ツールの開発につながる共通基盤技術を確立するため、基礎研究の成果を臨床研究へつなげていく研究(橋渡し研究)を実施する。

6 質疑応答模様

【本庶議員】

AP は難治がんをターゲットにしているが、本施策全体で何件あり、そのうち何件ががん施策なのか？

【経産省】

19 年度から始めており、昨年度終了したものもあるが、累積で 27 件の採択があり、うち 7 件ががんに関するもの。5 件が現在進行中である。

【本庶議員】

フェーズで言うと、2 の前くらいまで行くことを想定しているのか？

【経産省】

がんだけでなく、この橋渡し研究自体が「3 年の事業期間終了後、2 年で臨床試験に入る」ということを目標にしている。中には 3 年の事業期間内で臨床試験に入っているものもある。最低限でも、3 年終了後、2 年の内にはフェーズ 1 の治験に入ること、としている。

【本庶議員】

フェーズ 1 か 2 の始めのところでスポンサーを探して、というデザインか？

【経産省】

その通りである。

【本庶議員】

文科省から、応募の要件として、厚労省か文科省で場が提供されていることとなっている、という説明があったが、具体的には応募前に個別に相談してくれ、ということになっているのか？

【経産省】

公募の際に、こういった拠点を組んでくださいという話はしているので、申請者としてはその辺りを勘案した上で応募してくる、ということはある。特に文科省とは、同時期に一緒に公募説明会を開催しているので、申請者には周知されているものと判断している。

【本庶議員】

例えば、A先生がNEDOの資金をもらえれば、ある拠点で研究を実施させてもらえる、というような話し合いはそれぞれの研究者が自分でやってください、と。NEDOがそのような世話をするわけではないのか？

【経産省】

公募に先立って、事前説明会の期間を公募前に2ヶ月くらい取っている。公募の開始からも2週間までは事前相談させていただいている。その段階で、臨床の先生がきちんと付いていないような場合には、文科省や厚労省の拠点を紹介している。また拠点の方から「こういうシーズを持っているが、企業がついてNEDOのフェーズにはまりますか？」というようなご相談をいただきながら、NEDOとしても待っているだけでなく、マッチングをさせながら進めている。臨床研究では、責任医師というのが重要になってくるので、そういった先生と組んで出していただくよう、マネージメントしている。

【本庶議員】

経産省としては、フェーズ3については、国がやることではなくて、基本的に企業がやることだ、というスタンスか？産業革新機構は、フェーズ3も含めてサポートするのか？

【経産省】

フェーズ3というのは多額のお金がかかるということもあり、さすがに国の

お金でやるのは難しいと思っている。産業革新機構は、2つあると言われている死の谷の後ろの方、つまりお金のかかる方を埋めよう、と考えている。従ってフェーズ2A以降を中心に考えている、と聞いている。基礎研究から創薬まで行く、となると革新機構のような組織には後半部分のサポートを期待している。

**【外部専門家】**

プロジェクト自体には、オリジナリティや進歩性が感じられず、面白味がないが、どうして経産省がこういうプロジェクトを立ち上げるのか？国のお金を使うのだから、将来に残る、基盤になるようなもの、産業の活性化になるようなものを作って欲しいな、というのが希望である。

**【経産省】**

公募という形なので、公募のときにこういった課題を掘り起こすか、ということになる。

**【外部専門家】**

企業が参加しているが、社長レベルで企業が同意しているのか？JBIC でやっているが、どのレベルの人が承諾してやっているのか。会社をあげてやる気があるのかが、非常に問題だと思っている。もし低いレベルでの同意しかないのであれば、よく考えたほうがいいのか。

**【経産省】**

JBIC が入っているものに関しては、参加している会社からは、開発番号付きの候補物を出してもらっていることから、本気度が伺えると考えている。

**【本庶議員】**

がんの治療薬を1つでもいいので、きちっとしたものが出るように、アクションプランとしてもしっかりやっていただきたい。文科省との連携自体は緊密にやってもらっているようなので、期待している。

以上